

第7回
アフリカ
開発会議

TICAD7

公式サイドイベント



Symposium
アフリカの人びとと
地域の研究者が共創する
未来型サニテーション



SDGsで掲げられる「すべての人にサニテーション」という目標に向け、ザンビア、ブルキナファソ、カメルーンの各地の事例より、アフリカの人びと共創した次世代のサニテーションのコンセプト構築と具体的な解決策を提案します。

日時 2019年

8月27日(火)
13:00 ~ 14:30

場所 パシフィコ横浜 Annex
F204

神奈川県横浜市西区
みなとみらい 1-1-1



主催：総合地球環境学研究所サニテーションプロジェクト
共催：総合地球環境学研究所
問い合わせ先：地球研サニテーションプロジェクト
清水貴夫 shimizutakao@chikyu.ac.jp
入場無料・申込不要

PROGRAM

- 12:30 開場
- 13:00 ~ 13:10 山内太郎 (総合地球環境学研究所・北海道大学)
「サニテーションの新たな価値創造に向けて」
- 13:10 ~ 13:25 林 耕次 (総合地球環境学研究所)
「トイレが必要な条件とは？：カメルーンにおける
森・農村・都市のサニテーションを事例に」
- 13:25 ~ 13:40 中尾世治 (総合地球環境学研究所)
「トイレが普及するとどうなる？：
ブルキナファソの現状から」
- 13:40 ~ 13:55 原田英典 (京都大学)
「トイレに溜まるし尿をどう扱うか？：
東・南部アフリカの事例と日本の経験」
- 13:55 ~ 14:10 片岡良美 (北海道大学)
「子どもから地域へ：映像で広がるサニテーション」
- 14:10 ~ 14:15 山内太郎：議論のまとめ
- 14:15 ~ 14:30 総合討論
(司会：清水貴夫)

